

山のトイレ協議会通信

第13号



～新設された英彦山山頂トイレ～

撮影 豊福利信氏

目 次

英彦山バイオトイレ	2
募集天拝山登山	3
総会・講演会報告	4～6
活動報告	7～12
他の地域の状況	13
お知らせ	14
会員現況・運営委員会報告	15

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

～英彦山バイオトイレ見学訪問記～

5月24日英彦山中岳に建設されていたバイオトイレが完成し、清祓が行われたと聞きましたので見学に行ってきました。

25日は山開きが行われるので神職の方は資材のボッカをされておられました。宝満山でも同じですが、一つの行事をするとなると資材、用品のボッカが待ち受けます。祭礼時のゴザの荷揚げと思いますが、お疲れ様です。

中岳の休憩所は見違える程に、真っ白の建物に変わっていて、屋根は葺き替えられて両面にソーラーパネルが乗っかっていました。そして以前の右側の部分にバイオトイレが2台設置されています。残念ながら山開きの25日からの使用開始とみえて、まだ立ち入り禁止のロープが張ってありました。

左右にバイオトイレ、パイプは臭突と換気扇、右のタンクは清掃用の雨水タンクだろう。4角のドアはメンテナンス用ドア、屋根にはソーラーパネルが。大事に使わせて頂きます。

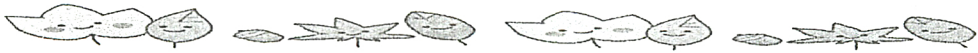
英彦山は標高1200mで宝満山よりも400m高く、冬場の気温はマイナス10度になる事も多いし、積雪も多い事から冬場のトイレ管理は困難を極めると思います。

使用する立場の我々はトイレマナーを守って保守管理される方に来るだけ負担をかけないようにしたいですね。

～宝満山キャンプセンターブログより～

(転載することについてはプロガーは承認済です)





参加者募集

山々を紅葉が彩る季節！ ふるさとの山をきれいに！！

今回は日本山岳会福岡支部主催の清掃登山にジョイントします。
皆さん、散歩を楽しんでいる身近な山です。数年前は企業の廃棄物が谷筋に捨てられていました。ごみゼロを目指して、継続は力なり。頑張りたいものです！
皆さんのご参加をお待ちしています。

清 掃 登 山

実施日：11月9日（日）

山 域：天拝山

集合時間:AM10時00分 集合場所:天拝山登山口

☆JR利用者はJR二日市駅に9時30分集合

☆西鉄大牟田線利用者は二日市駅に9時00分集合

<持参するもの> 軍手・火ばさみ・レジ袋数枚・登山装備・昼食

<登山コース>

1班) 正面から 2班) 山口(天拝湖)から 3班) 大佐野貯水池から

★当会の登山コースは当日決めます。

★昼食は各班毎に摂り、午後2時迄に集合場所(天拝公園)に集合

まだゴミが
落ちてるね



第6回 平成26年度定期総会・講演会 報告

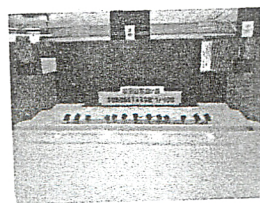
去る6月28日、14時から第一回総会以来、每期、定期総会に利用させてもらっている太宰府天満宮近くの「太宰府館・まほろばホール(3F)」で開催されました。司会者には、「日本山岳会北九州支部」の事務局長・山田武史さんをお願いしました。今回、欠席した山上 司 会長からの挨拶文を運営委員の貞刈 誠さんが代読した後、議長には、事務局推薦の「福岡想山会」事務局長・平田真介さんが選出され議事に入りました。


平成25年度における活動については大田 勝 運営委員長から、宝満山など山開きでのマナー袋の配布による啓蒙活動、「劣山」との共催での清掃ハイクなどが報告されました。また、引き続き説明があった次年度の活動計画は、前年度の活動をほぼ踏襲した地味な計画となっています。宝満山では、おそらく複数の登山者により地元有志の人たちが植えたシャクナゲの枝が100本ほども折り取られ、薪にした跡が見つかる(トイレ通信第12号に西日本新聞の記事を掲載)などの事件も

発生しています。活動計画について運営委員会では、山でのトイレマナーだけでなく、自然環境保護全般についての啓蒙活動を地道に継続していく必要があると痛感しての提案であり、参加者からの拍手で了承されました。会計報告並びに次年度予算についても特に異論は無く了承されました。

役員の改選については、太田会長から、今期をもって運営委員長を退任し、当会の規約に基づき、運営委員会としては、運営委員の貞刈 誠さん を新委員長に推薦したいとの提案があり了承されました。(貞刈 誠さんは、福岡県山岳連盟所属で現在、自然保護委員会委員長をされています)

14時44分 山田 武史さんの閉会挨拶で本日の定期総会は終了しました。





記念講演について

今回は、多くの場で話題になり、普及しつつあるバイオトイレの構造、機能などについては知らない人もかなり居ると思われるので、利用する側ではなく、作る側、メーカー側からの説明を聞く機会を持とう！と企画されたものです。

今回の講演者は、飯塚市に本社がある「アイテックシステム(株)」の代表取締役吉田 和彦氏にお願いしました。まず初めに、2005年8月にRKB毎日放送したドキュメンタリー番組「桃とトイレと日本人」の一部がビデオで放映されました。登場人物が当社のバイオトイレ事業とは切っても切れない関係にあるからです。

日本では全く無名に等しかった福岡市出身の「島田俊雄」さんという方が、トイレや下水道事業の普及が遅れている東南アジアの中でも、特に中国で水処理、農地の土壌改良等に尽力された結果、桃、カボチャなどの農産物の品質改良にも貢献されたそうです。平成7年からバイオトイレの研究が始まり、トイレの汚物処理に有効な好気性バク

テリア、土壌細菌を活用したバイオトイレの普及に努められ現在では500ヶ所に設置されているとのことでした。

(島田さんは平成22年逝去されていますが、当社はその遺志と技術を受け継ぎ、島田さんの頭文字を取ったSMO方式のバイオチップを使ったバイオトイレを製造しています。)バイオトイレの基本的な構造は、便槽の中にバクテリアを培養したオガクズ、チップなどをいれ、糞尿と攪拌して発酵、分解を促進させることによって、炭酸ガス、水に変化させ、無害の物にしようとするものです。電気が来ていない山岳部では発酵させるのに必要な熱源や動力源をソーラー発電で得ているケースも多く、日光が弱く、積雪がある冬期の運用には課題もありそうです。

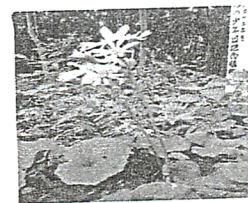
また、攪拌については、利用者本人による手回し式やペダルによる足こぎ式などを採用している所もあります。(バイオトイレの詳細な仕組みや機能などについては多くの企業がインターネットで公開していますのでそちらで参照ください)

2014年6月、英彦山にも福岡県により待望のバイオトイレが設置されました。電気や水が無い山岳部でのバイオトイレの建設には大変な労力を要しますが、以後の維持管理がより大変なものです。何せ繊細な細菌が相手ですから。

利用する登山者の方も「細菌が食べられないもの、消化、発酵できないものは絶対使用しない、捨てない！」という原則を厳守しないといけません。

これからも気持ちよく利用するためにちらかしたり、汚したりしないよう協力ください。また、トイレットペーパーの差し入れもありがたいです。

(記：矢田啓祐)



～運営委員のひとりごと～

今年度も総会への出席率が少なく26人・3割であった。毎年ヒヤヒヤ、ドキドキしながら当日を迎えている。今年はまだ講演の内容が専門的話では?と思った人もいたかもしれない。出席者の少なさに講師関係者は驚かれたようだった。内容的には素人にもわかるように工夫されていたのに残念で申し訳なく思った。中国の観光地五

台山ではバイオトイレが設置されていたという驚く話もあったのに……。この会はボランティア的存在で、お付き合いで会員に名を連ねてくれている人が大半かもしれない。それはそれで有難いことであるが、出席者を増やすいい知恵はないでしょうか？

(文責：高松)

～啓蒙活動報告～

実施日:2014年5月25日(日) 晴れ

山域:英彦山 山開き 目的:マナー袋配布 配布枚数300枚

参加者: 34名 (会員5名 JAC北九州支部21名 あだると山の会8名)

★★山開き始まって以来の登山者1000名超!★★

天気もよく2台の車に分乗して英彦山登山口までくる。登山開始よりすぐにこの山に詳しい男性に会い、案内係を申し出られる。道の話、歴史、要所々の説明をされるので、11時の神事に間に合うか心配でした。リーダーのつもりで休憩などの指示もあり、最初から最後までご一緒されました。楽しくもあり、大変ありがたい方でした。

11時40分山頂に着くと神社の周辺は人々でいっぱい。神事開始を待っている間に山のエチケット袋を皆さんと説明しながら配布しました。11時の神事には社殿の中に入ることが出来皆さんと安全祈願を受けることが出来ました。神事が終わり外に出るとたくさんの登山者「1000人は超えているでしょう」とのこと。

昼食が済み、トイレを見に行くと立派な休息所にバイオトイレ男女兼用2基が設置されていました。トイレの前には男女の列が長く見受けられ、福岡県自然環境課の方二人がおられたので、待っている間に子供たちにトイレのしくみなど説明していただきました。

登山者皆がきれいにルールを守り使用されたらいいなと思いました。協賛金などは取れないそうで、「登山時にトイレトッパー1個でも持参していただくといいですね」とのことでした。帰路ゴミを拾って下山、ビニール袋(中)2袋分拾いました。

帰りに道の駅の“1億円トイレ”を見学、買い物をして天神で解散する。皆様お疲れさまでした。

2016年山の日が制定されます。山に感謝すること、山の環境、山のことを知るためにも、この山のトイレエチケットは必要だと思います。微力ですが続けていこうと思います

(報告:高井カホル)



現在、トイレは「英彦山のトイレを考える会」のメンバーと地元ボランティアによってきれいに保たれているが、ラーメンの食べかすが捨てられるなど、使用者のモラルアップが課題となっている。

実施日:2014年5月18日(日)

山 域:四王寺山 目的:清掃登山

参加者:24名(会員8名 JAC福岡支部9名 あいれふハイキングクラブ7名)

ゴミ量66kg その他 古タイヤ18本 パイク残骸 家庭用品他

<報告PART I >

★★抱えられない粗大ゴミに一苦勞!★★

本格的な夏山シーズンを迎え、各地域で山開きや清掃登山が行われています。福岡でも5月18日に日本山岳会福岡支部などと一緒に私の所属するグループも四王寺山清掃に参加しました。9:30 参加者はいつものように火ばさみ・軍手・レジ袋を持参し、都府楼跡駐車場に集合。太田さんから清掃要領の説明を聞いた後、グループごとに登山道のコースを分担してゴミを拾いながら登っていきます。



山ガールなど最近の登山者はマナーがよくなり山でゴミを捨てたり、山野草を取ったりする人は殆ど見かけません。里山歩きやピクニックで賑わう四王寺山でも、登山口から登山道に沿って山頂に向かって清掃参加者が山頂までにレジ袋をいっぱいにするのが難しいほどゴミは少ない。

ところが、他の山でも一緒ですが、ゴミがまとまって捨てられているところがあります。山の中を縫うように走る林道など車が入れる場所で、人目に付きにくい場所です。いわゆる不法投棄されたゴミ・廃棄物です。

今回私たちが見つけたのは不法投棄されたゴミでした。場所は「高橋紹運墓」の近くですが、車道からは少し離れています。敵はどんなにして此処に運び込んだのか訝しがりながら谷底まで散らばった古タイヤを集めました。かなり以前に投棄されたものらしく、蔓が絡んだり、タイヤの中に土砂が溜まり重くて難儀しました。その重いタイヤもさすが山で鍛えている女性軍、凄いパワーで道路近くの集積場所に持ちあげてくれました。大型トラックのタイヤ 18 本など粗大ゴミは私たちの力ではこれを登山口まで運べないので、市の清掃局に連絡し処理してもらうことにしました。この他にも「馬攻め」近くの道路沿いに纏まって捨てられているゴミがあましたが、これはそれぞれが分担して駐車場まで下ろすことにしました。



ゴミ袋を手にちょっと休憩..

参加者は四王寺山の登山道を幾つものコースに別れゴミ拾いをして、「焼米ヶ原」で昼食。一休みの後、それぞれスーパーでのショッピング帰りのようにゴミが詰まったレジ袋を両手に下げて山を降りました。

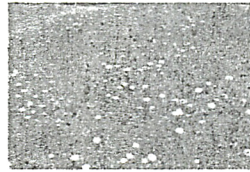
登山口の駐車場で集めたゴミを資源ゴミ・不燃ゴミ・可燃ゴミに分別し、清掃局から支給されたゴミ袋に詰めて今日の清掃登山は終了です。山に残した粗大ゴミも駐車場で分別したゴミ袋も明日清掃局が処理してくれるでしょう。

山の清掃登山には毎年何回か参加しますが、登山より疲れます。普段使わない

筋肉を使うからでしょう。脚力には多少自身は有りますが腕は鍛えていません。谷底から粗大ゴミを引き揚げたり、集めたゴミを運ぶ腕は翌日まで堪えました。でも、すれ違う登山客からの「ご苦労様です！」の声と山で出会ったウツキ・カンアオイ・ギンリョウソウ・タツナミソウ・ニガナなどの山野草に癒されました。

また、私は始めてお会いする参加者もたくさんいましたが、お互い山を愛する仲間、終始和やかにチームワークよく作業も捗り、清々しい一日でした。

(記:白川幸司)



<報告part II >

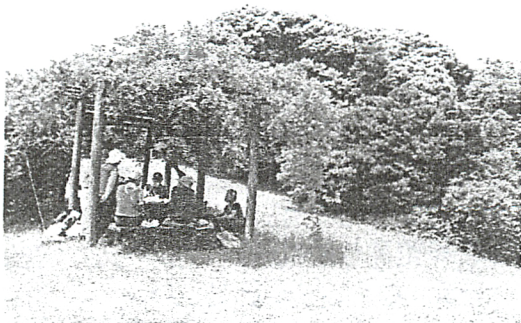
★★マナーアップの啓蒙に努める必要を感じた!★★

日本山岳会福岡支部班は中馬支部長、高木副支部長も加わり、総勢 9 名にて四王寺山の清掃登山に参加した。私たちは「坂本から谷沿いに登り、大石垣を経て稜線に上がるコース」を担当したが、出来るだけ多くの登山道をきれいにしたいと「坂本から尾根を登り坂本口城門跡に上がるコース」、「大石垣への道を途中右に折れ眺望の森(展望台)を周遊する道を歩き稜線へ上がるコース」の 3 コースに分かれ、清掃を行った。私は坂本口城門跡への尾根道を登ったが、たまにアメの包み紙を見つける程度で大きなゴミは見られなかった。大石垣を経て

稜線に上がるコースでは利用者が多いためかアメの包み紙、レジ袋、ビニール袋、空き缶などが多く見られたほか酒の 4 合瓶も拾われていた。またこのコースでは登山道脇の藪かげでレジ袋に入れられたゴミを数か所で見つけたとのことである。眺望の森周辺コースではアメの包紙が散見されたほか無造作に破り捨てられたビニールが見られたとのことである。



11時10分稜線上で合流して焼米が原へ。焼米ヶ原では全員でゴミ拾いをしたが、目立ったものはなく、草や木の根元にアメの包み紙やプルトップを見つけた程度であった。12時昼食。



木陰でランチ・タイム

帰りは岩屋城跡から政庁跡へ下ったが、途中林道下の登山道脇に沢山の古タイヤと電気器具らしいものが山積みされているのを見た。これらは市民の森から岩屋城コースを担当した太田さん達(山トイレ協議会)の班が谷から持ちあげたそうで、深い谷、急な斜面をよく運ばれたと感心・感謝するとともに大量の粗大ゴミを投棄して行った者に対して腹立たしさを感じながら通り過ぎた。(翌日市役所の担当課に連絡、間もなく撤去された。



13時30分出発地点の政庁跡駐車場に到着。

集めたゴミを合わせ、分別して所定の場所に置き作業を終了。



皆さん、やり終えた後の清々しい(ー)です

四王寺山のゴミは以前に比べ減ってきたように思われたが、藪の陰に隠し置いて行ったゴミや無神経に散らかして行ったゴミもまだまだ多く見られた。また小さなゴミだがアメの包み紙も多く見られた。風に吹き飛ばされたり、ポケットに入れたつもりが何かの拍子にこぼれてしまったのかもしれない。ゴミのない気持ちの良い山歩きをするには、まず自分自身の不注意からゴミを作ってしまうことのないよう気をつけねばならない。また大勢の登山者の中にはマナーの悪い人もおり、機会を捉えマナーアップの啓蒙に努めていく必要があると思われた。(記：酒匂輝昌)

☆あいれふハイキングクラブは先に下山された。

今年も(株)ムッシュ様よりマナー袋の寄贈を頂くことになっています。有効に使っていきたいと思います

実施日:2014年7月20日(日)

山 域:宝満山 目的:マナー袋配布 配布枚数:100枚

参加者:15名(会員4名 JAC福岡支部5名 あだると山の会4名 山の図書館2名)

★★配布に多勢の人が協力★★

今回は山頂に10時30分集合とした。天気がよく山頂には人があふれている。タイミングよく、あだると山の会のメンバーがトレーニング登山で来ていたので、配布を手伝ってもらった。11時より神事開始なのでその前に配る。神事のあと、

恒例の西鉄山友会さんより、記念タオルが配られた。山頂である程度配布して、キャンプ場へ移動。

そこでも配布し、残ったものはキャンプ場トイレに置いてもらって終了とした。

実施日:2014年7月27日(日) 9時30分～12時00分

山 域:井原山水無鐘乳洞登山口 目的:マナー袋配布 配布枚数:200枚

参加者:14名(会員9名 あだると山の会1名 山の図書館2名 自然に親しむ会2名)

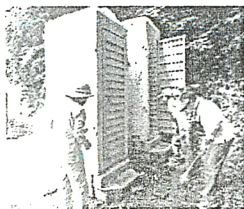
★★季刊誌「のぼろ」の取材を受ける!★★

JR 波多江駅に8時30分集合して、太田氏の車とタクシー2台に分乗して登山口まで行く。今回は前日がひどい雨で、昨年に比べると駐車している車は少ない挨拶がすみ、手分けしてトイレ清掃、タンクの水入れ、周辺の掃除、マナー袋配布に取りかかった時、カメラを掲げた男性が二人おられ、季刊誌「のぼろ」の取材記者中村さんとわかり、挨拶をする。早朝7時より来てあった様子。実は井原山でのマナー袋配布活動のチャンスを活かして、山のトイレのことを知ってもらうことに意義があると思い、7月7日に中村氏に電話を入れて、取材をお願いした。



～皆さん、経験されたことはありますよね。山頂で、登山道でティッシュが雨にさらされ、汚くなって小枝に付いていたり、草に付いていたり、地面にこびりついていたり、こんな光景をみたくありませんよね。これは山における排泄が問題。女性はとにかく使用後のティッシュはビニール袋に入れ、持ち帰る。それが出来ないときは土に埋めるか、木の葉で隠すかして欲しいのです。

皆さんが気持ちよく山を楽しむために～



今回も登山する人、オオキツネノカミソリの花を見に来た人に上記のことを説明しながら手渡しをしました。快く受け取って下さったり、「ご苦労様」と言って下さる方が多く見られました。今回から袋の中に塩アメを一個しのばせました。配布終了後、冷やしていたスイカを食し、いつものランチ場所へ移動、涼風を浴びながらランチして解散しました。
暑〜い！一日お疲れさまでした
(記：高井カホル)

☆友人に配りますと預かって帰った人も居た。嬉しい話です。(編集者)
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
高井カホルさんは地元の飯盛山で登山の都度、ゴミを拾い、エチケットマナー袋を配布する活動を一人でされています。本当に頭が下がります。

季刊誌「のぼろ」秋号に井原山の取材記事が一頁載ってます。皆さん、読んで下さい！！

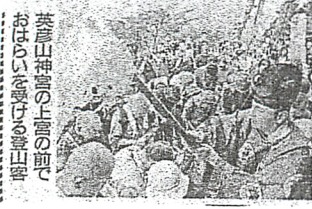


英彦山で山開き 山頂トイレ、利用始まる

添田町の英彦山(1199m)で26日、山開きがあり、中岳山頂に整備されたバイオトイレの利用が始まった。日本三天修験道場として栄えた英彦山の山頂一帯は「つばも吐いてはいけない神域」。このため、これまでトイレがなかったが、年間20万人前後の登山客が訪れることから、県が休憩所内に男女兼用の洋式トイレを建設した。この日は天候に恵まれ、中岳山頂には千人近くの登山客が登頂。英彦山神宮の上宮で神職が山開きの安全祈願をした後、近くのトイレでおはらいをした。県自然環境課の職員は「トイレがきれいになって、登山客の利便性が上がる。山頂の環境もよくなる」と話した。

添田町の英彦山(1199m)で26日、山開きがあり、中岳山頂に整備されたバイオトイレの利用が始まった。日本三天修験道場として栄えた英彦山の山頂一帯は「つばも吐いてはいけない神域」。このため、これまでトイレがなかったが、年間20万人前後の登山客が訪れることから、県が休憩所内に男女兼用の洋式トイレを建設した。この日は天候に恵まれ、中岳山頂には千人近くの登山客が登頂。英彦山神宮の上宮で神職が山開きの安全祈願をした後、近くのトイレでおはらいをした。県自然環境課の職員は「トイレがきれいになって、登山客の利便性が上がる。山頂の環境もよくなる」と話した。

添田町の英彦山(1199m)で26日、山開きがあり、中岳山頂に整備されたバイオトイレの利用が始まった。日本三天修験道場として栄えた英彦山の山頂一帯は「つばも吐いてはいけない神域」。このため、これまでトイレがなかったが、年間20万人前後の登山客が訪れることから、県が休憩所内に男女兼用の洋式トイレを建設した。この日は天候に恵まれ、中岳山頂には千人近くの登山客が登頂。英彦山神宮の上宮で神職が山開きの安全祈願をした後、近くのトイレでおはらいをした。県自然環境課の職員は「トイレがきれいになって、登山客の利便性が上がる。山頂の環境もよくなる」と話した。



トベーパー以外は使わず、ごみなどを中に入れないように呼び掛けるチラシを配布。飯塚市の有吉秀久さん(69)は「きれいで気持ちよかったです。みんなで大切にしたい」と話した。
バイオトイレは微生物が排せつ物を分解するため、み取りが不要で、臭いもほとんど無いのが特徴。清掃や点検は、筑豊山の会や日本山岳会北九州支部など7団体が担当する。

携帯トイレ導入の霧島山系その後は？

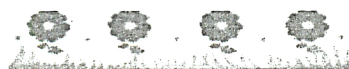
高千穂の峰山頂にトイレブースが設置されて一年半経過したので、その後の状況を高千穂河原ビジターセンター、えびの高原エコミュージアムセンターに電話で尋ねました。高千穂は開設当初はブースの中に使用後のものが置かれていたりしたが、現在は月に三回ほど見廻りに行っているの、きれいに保たれている。

韓国岳、大浪池はブースを設置するに相応しい場所がないので、難しい。登山時間が短いので登山前にトイレに行くこと、また携帯トイレの持参を提唱し浸透してきている。10月には環境省主導で携帯トイレ普及・啓発のキャンペーンをはることになっている。

早池峰山山頂避難小屋は携帯トイレ専用になる

長年、し尿の担ぎ下ろしをしていた早池峰山が6月から携帯トイレ使用になった。登山口と山頂に無人販売があり、市価よりも安く購入できる。使用済みの携帯

トイレは持ち帰りが原則だが、やむを得ず持ち帰りできない人のため、登山口と麓の駐車場に回収ボックスを設置している。



携帯トイレの使用方法



便袋を広げて折り返し
使用します。



使用後は口をしっかり
結びます。



チャック袋に収納します。

Q:どこで買えますか

A:山の店ならどこでも
ラリーグラスなど

嬉しいニュース

☺「山の日」施行 2016年8月11日 ☺

日本山岳会をはじめとする山岳関係者や自然保護団体からの意見を受けて2014年に制定された。山の日趣旨は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝す

る」です。私たちもこの『山の日』施行を機会により一層、“山を美しく”を提唱して行く必要があるのでは？





～参加してみませんか～

☺「福岡のしか ー現状と課題＝」☺

シカは、国内他の地域と同様、福岡でも一時は数を減らしましたが、今は植物の芽生えや樹皮を食べ、自然や林業、農山村に被害をもたらすほど増えていると聞きます。最近では、主稜やジビエ、福岡都市高速道路で車とぶつかる等、まちでもさまざまな話題になっています。しかし、どこで、どのようにくらしているのでしょうか？シカの研究を長く続けておられる池田浩一氏が講演されます。

会 場：福岡市健康づくりセンター
(あいれふ講堂)

定 員：100名(要・申込)

参加費：500円

講師 池田浩一氏

＜参加申込・問い合わせ＞

主催 福岡森づくりネットワーク

【電話】 080-6438-4268

【申込専用 FAX】 092-642-2878

(川崎氏宛)



～キジ撃ちとお花摘み～

山で用を足すとき男性は「キジ撃ち」女性は「お花摘み」と言っている大勢で行った時は、仲間にそっと「キジ撃ち」「お花摘み」と言っていく。

何故なら置いて行かれることもあるから・・・

持っていくもの：ビニール袋・ペーパー・スコップ(あれば)

[キジ撃ち、お花摘みのしかた]

- ・登山道から見えず、安全が確保できる場所
- ・場所を見つけたら穴を掘る
- ・用を足す
- ・排泄物に土や葉っぱをかぶせる

[注意すること]

- ・沢筋や水場の周囲はさける
- ・周辺の植物を踏みつけないように
- ・使用済みの紙は持ち帰る



会費未納の方へお願い!

払込書を同封しています。今年度もご協力よろしくお願い致します
会計より

現在、この会は下記の個人、団体、協賛によって支えられています

<団体会員> 会員数 14 団体

RKAC山の会 アイテックシステム(株) あだると山の会 九州高地植物
保護協会 九州登山情報センター 労山田川かたつむり山の会 筑豊山の会
日本山岳会福岡支部 日本山岳会北九州支部 福岡県山岳連盟 宝満宮竈門
神社 福岡県勤労者山岳連盟 (株)湊工業 山の自然に学ぶ会

<個人会員> 会員数 61 名

個人情報との関係で氏名公表は差し控えました。

<協賛先>

宝満宮竈門神社 (株)ムッシュ

～運営委員会だより～

開催月日	議題内容	開催場所
7/17(木)	・総会及び講演会の報告 ・新年度運営委員会開催日程について ・新年度運営委員会の活動方針 ・啓蒙活動 7/20宝満山山開き・7/27井原山キツ ネノカミソリ 詳細決定 ・秋の清掃登山山域について	登山の店ラリーグラス 2F
9/18(木)	・7/20・7/27 の啓蒙活動実施報告 ・秋の清掃登山担当及び日程の詳細決定 ・トイシ通信 13 号発行日程及び詳細報告	登山の店ラリーグラス 2F

☀ 山のトイレマナーと環境にやさしい登山を ☀

- 山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- 山中では設置のトイレで用を足しましょう
- トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- 公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は
- 穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- 使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- 花を手折ったり、盗掘はやめましょう
- 登山時のゴミは持ち帰りましょう



～編集後記～

今年の夏はよく雨が降った。広島災害は他人ごととは思えない。平成15年に襲った太宰府の大雨、我が家からは今も四王寺山に残る爪跡が、茶色の肌を見せている。

災害に遭われた方のご冥福をいのるばかり。T.T

山のトイレ協議会通信 第12号

発行日 2014年9月29日

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

〒818-0115

太宰府市内山708番地

九州登山情報センター内

☎&FAX 092-928-2729